

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月30日	作成者名	山崎 康之	評価者名	石橋 功吏
-----	------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	上下水道部・水道施設課
分野	07 上下水道	関係課	上下水道部・上下水道経営課
施策	62 上水道の充実		上下水道部・下水道施設課
施策の目的	災害に強い水道施設を整備することによって、市民がいつでも安心して水道水が飲めるようにします。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	配水管更新事業
取り組み②	配水管布設事業
取り組み③	浄水場施設改良事業
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
管路の耐震化率	管路総延長のうち、耐震管延長が占める割合	%	52.6	50.4	50.7	50.8	51.2		
有効率	有効に使用された水量（メーター水量、事業用水量など）の割合	%	97.8	95.6	94.8	96.3	96		
直結給水率	配水管から直接給水している建物件数の割合	%	62	58.3	65.6	66.1	66.8		
その他施策の取組事項に係る成果	本市の基幹管路として位置づけている配水管の耐震化、老朽配水管の更新による耐震化及び浄水場施設更新を行い、災害に強い水道をめざし安定給水の強化を図った。								

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	浄水場施設の更新率は50%に満たない状況である。また、災害時の避難所・病院などに給水する基幹配水管の耐震化も完了していない。有効率においては、前年度より0.3%下降した原因として漏水等の増加が考えられるため積極的な漏水防止に努める必要がある。また、耐用年数を過ぎた配水管の耐震化は急務であり、これを促進することで漏水対策にも繋がる。直結給水率においては、前年度より0.7%上昇したが、今後も直結給水の普及拡大に努める。	対応策	水道事業中期経営計画に基づき、避難所や救急病院に給水するルートをループ化し基幹管路の耐震化を進めるとともに、老朽配水管の更新も計画的に行う。また、漏水防止対策として漏水調査による地下漏水の早期発見・修理を継続的かつ積極的に実施し、さらに漏水の多い私道に配水管を布設することで、漏水量の減少を図り有効率の向上を目指す。直結給水については、新設や既設建物の所有者等に対し啓発を積極的に行い直結給水の範囲を拡大する。
----	---	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	B	説明 (総評)	水道事業中期経営計画に基づき配水管更新等を行い、耐震化率を向上させた。また、浄水場施設及び設備の更新も計画どおり行った。有効率については前年度に比べ0.3ポイント下降したが、今後も積極的な漏水対策を継続して行っていく必要がある。直結給水率については、着実に前年度より伸びている。
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)			説明 (人員/予算)

(評価者コメント)

水道ビジョン2014（改訂版）及び水道事業中期経営計画に基づき、水道施設の更新を継続的に実施し災害に強い水道施設の充実に取り組んでいる。また、上下水道事業包括委託により業務の効率化にも努めている。今後も、水道施設の更新を着実に実施することで更なる水道基盤強化を図り、安全で安定的な水道水の供給を行っていく。

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月30日	作成者名	山崎 康之	評価者名	石橋 功吏
-----	------------	------	-------	------	-------

5. 事務事業の検討 【特別会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性				R 2 予 算 額	事業費 うち 一般財源	
		事業コード		事業区分	H30決算額	R1予算額	評価結果					事業の方向性	実施計画候補	実施計画優先度	コメント			
		事業内容					事業の方向性	実施計画候補	施策への貢献度	経費水準	事業手法							受益・負担の公平性
xx		配水管更新事業 (水道施設課)																
	00	配水管更新事業		任意	313,799										計画に基づき、継続して管路の更新を進め、耐震化を図る。	0		
		70 xx xx xx xx 00			546,366	1	○	A	A	A	B	1	○	A		0		
		配水機能の中心となる管路と、救急指定病院や避難所等へ			355,675													
		整備する。また、幅員が9			12,623													
xx		配水管布設事業 (水道施設課)																
	00	配水管布設事業		任意	75,118										計画に基づき、新設管を布設し、水の安定供給を図る。	0		
		70 xx xx xx xx 00			46,453	1	○	A	A	A	B	1	○	A		0		
		未配管路や袋路等へ配水管を整備する。また、幅員が9			137,774													
					11,940													
xx		水質管理事業 (水道施設課)																
	00	水質管理事業		義務	3,139										水安全計画及び水質検査計画に基づき、水質管理を行う。	0		
		70 xx xx xx xx 00			5,359	1		A	B	B	B	1		義		0		
		水道水質基準に基づき、安全で安心出来る水道水質を確保			5,674													
					2,729													
xx		水道メーター交換事業 (水道施設課)																
	00	水道メーター交換事業		義務	31,232										計量法の規定に基づき、水道メーター交換を行う。次年度より、給水事業の一環として統合する。	0		
		70 xx xx xx xx 00			30,277	4		B	B	B	B	4		義		0		
		計量法に基づき、検定満期(8年)を迎えた水道メーター			0													
					0													
xx		浄水場施設改良事業 (水道施設課)																
	00	浄水場施設改良事業		任意	457,752										計画に基づき、重要な水道施設である浄水場施設等の更新を進め、機能強化を図る。	0		
		70 xx xx xx xx 00			402,985	1	○	A	B	B	B	1	○	A		0		
		耐震性の低い浄水場施設の耐震補強や耐用年数を向かえた			193,666													
					193,666													
xx		浄水場運転管理事業 (水道施設課)																
	00	浄水場運転管理事業		任意	100,980										平成28年度から実施している包括的委託を継続し、安定した浄水場の運転を維持する。	0		
		70 xx xx xx xx 00			101,915	1		B	B	B	B	1		B		0		
		浄水場施設の運転業務及び維持管理業務の管理・監督を行			102,850													
					102,850													
xx		漏水修理事業 (水道施設課)																
	00	漏水修理事業		任意	93,116										水道の有効率、有収率を上昇させるために、今後も継続していく。	0		
		70 xx xx xx xx 00			91,088	1		A	B	B	B	1		B		0		
		地上漏水の修理及び地下漏水の早期発見、修理を実施する			91,088													
					8,870													
xx		給水事業 (水道施設課)																
	00	給水事業		義務	22,311										給水管設置等に係るの審査、水道分担金に係る業務であることから、継続していく。	0		
		70 xx xx xx xx 00			22,517	4		A	B	B	B	4		義		0		
		給水装置工事事業者から申請された申請書及び竣工届書が			56,403													
					56,403													
				9,893														

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
7 令和2年度で終了 8 令和元年度で終了 9 平成30年度で終了